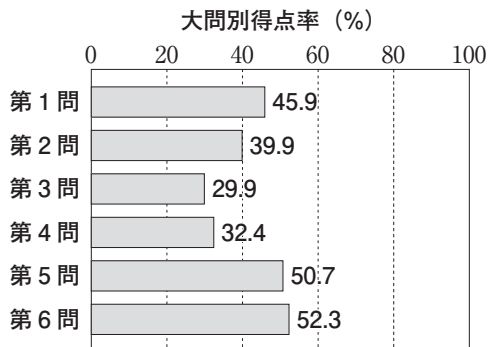
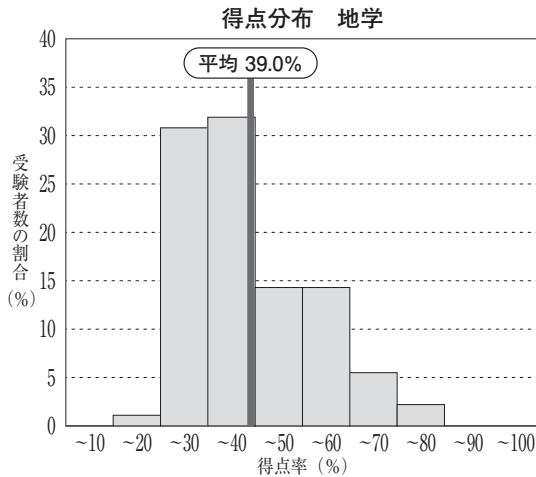


地 学

最後まで練習を積み、1点にこだわろう。

I. 全体講評

今回の得点分布は、次のようになっている。平均点は39.0点であった。「地学」は「地学基礎」に比べて学習項目が多いが、教科書をしっかりと理解することで高得点を狙える科目である。最後まで気を抜かず得点を伸ばしていくようにしよう。



II. 大問別分析

第1問 固体地球とその活動

知識を論理的に捉えよう。

Aでは海嶺におけるプレート運動についての総合的理解を確認した。解説の図を参考に、地磁気の縞状異常の仕組みについて理解しておこう。

Bではマグマの発生と分化についての基礎的理解と計算力を確認した。計算問題は自分で方程式を立てられるよう練習しておこう。

Cでは重力とジオイド、重力異常についての基礎的理解を確認した。重力のブーゲー異常については、2016年のセンター試験でも出題されている。解説の図を参考に、地下の構造とブーゲー異常の関係について整理しておこう。

第2問 地球の歴史

図の読み取りに慣れよう。

Aでは新生代の地史についての総合的理解を確認した。化石については、名前と時代を覚えるだけでなく、必ず図や写真で形や大きさなども確認しておこう。

Bでは地質図の基礎的な読図力を確認した。地質図に関する問題はセンター試験では頻出である。露頭線から地質断面図をイメージできるようにしておこう。

Cでは大気中の酸素と二酸化炭素の濃度変化と生物の変遷の関係についての基礎的理解を確認した。大気中の酸素濃度の変化と植物の関係を理解しておこう。

第3問 日本の気象と高層天気図

仕組みを理解して覚えよう。

Aでは日本のそれぞれの季節の天気図の特徴についての総合的理解を確認した。天気図の特徴を読み取り、どの季節のものかわかるようにしておこう。

Bでは偏西風波動についての基礎的理解を確認した。高層天気図の読み取りに慣れておこう。なお、

偏西風波動や偏西風については、2016年のセンター試験でも出題されている。

第4問 宇宙

計算問題に取り組みよう。

Aでは惑星の運動についての総合的理解を確認した。問題文を読んで正しく図を描き、式を立てられるように練習しておこう。

Bでは恒星の光度についての理解と計算力、および恒星の進化についての理解を確認した。法則を使いこなせるようにしておこう。なお、恒星の質量と進化については2015年のセンター試験でも出題されている。

第5問 ケイ酸塩鉱物と走時曲線

地球の構成物質と内部構造を理解しよう。

Aではケイ酸塩鉱物の結晶構造についての総合的理解を確認した。造岩鉱物の SiO_4 四面体のつながり方に関する問題は、2017年と2016年のセンター試験でも出題されている。解説の図を参考に、主な造岩鉱物の SiO_4 四面体のつながり方を理解しておこう。

Bでは走時曲線と地球の内部構造の関係についての基礎的理解を確認した。S波の走時曲線や地球内部の密度や圧力の分布も確認しておこう。

第6問 大気と海洋の相互作用と気候変動

地球環境について関心を持とう。

Aでは海洋・大気・陸地をめぐる水と物質の循環についての理解を確認した。エルニーニョ現象やラニーニャ現象の仕組みについて理解しておこう。

Bでは酸素同位体比と気候変動の関係とミランコビッチサイクルについての基礎的理解を確認した。ミランコビッチサイクルに関する問題は、2015年のセンター試験でも出題されている。

なお、第5・6問は選択問題になっている。両問題をざっと見比べた上で、学習の進捗状況などに合わせて取り組みやすい方を選択すればよい。

Ⅲ. 学習アドバイス

◆これからの学習について。

入試本番では、必ず見直す時間を確保したい。例えば、センター試験では試験時間60分のうち、10

分程度を見直しにあてられれば理想的である。そのためには普段から制限時間よりも短い時間を設定し、負荷をかけた演習を行うことが有効である。

また、入試本番では、塗り残し、マークのずれはないか、など確実にマークできているかの確認を必ず行おう。

◆模試を活用しよう。

これから先の期間は、新しい問題集などに手をつけるのは避けよう。今まで取り組んできた問題の復習に注力してほしい。見たことはあるが、解けなかったという悔しい思いをしないように、今まで自分が学習してきた内容を最後の最後まで徹底的に復習しよう。特に、これまでの模試の解説を見直すことは直前対策として有効である。センター試験では過去問と類似した内容が出題されている。傾向を把握し、時間配分の訓練をするためにも、徹底的に過去問の演習を積もう。また、解説をしっかりと読み込み、疑問点を残さないようにしよう。やりっぱなしでは効果がない。

今まで受けてきた模試の結果から、自分の得手不得手が改めてみえてくるはずである。それらの結果をもとに再度弱点を補強しておこう。